

関西電力グループの価値創造プロセス

事業環境の認識

経済・国際環境

- 地政学リスク
- インフレ
- 金利上昇

社会構造

- 人口減少
- サプライチェーンの脆弱化
- DX・AIの進展

エネルギー

- 中長期的な電力需要の増加
- 脱炭素化の流れ

事業活動

お客さま価値の創造

お客さまや社会のニーズを
先取りした事業の探索と事業化

エネルギー

- ・需要増加と脱炭素化ニーズに応える電源基盤の確立
- ・お客さまニーズに応える最適なソリューションの提供

新領域

KX
toward
2040

送配電

強靱な電力ネットワーク構築による
安全・安定供給

不動産

産業と暮らし、地域の営みを
支える不動産開発

情報通信

AI時代の社会を支える
デジタルインフラの構築

地域との共創による事業展開

経営の深化と変革

ガバナンスとコンプライアンス

持続可能な社会の実現



Serving and Shaping the Vital Platform
for a Sustainable Society

ゼロカーボン社会の実現

経営資本

強み

- グループ一体となったお客さまニーズへの対応
- 高い価値を生み出す事業アセット
- 設備運用・開発の高い技術力
- 強靱な経営基盤

財務資本

- ROIC 5.7%
- ROE 11.7%
- Net Debt/EBITDA 3.8倍
- 自己資本比率 35.1%
- EBITDA 9,375億円
- 経常利益 5,185億円

知的資本

- 研究開発費 161億円
- DX投資 263億円

社会・関係資本

- 全国・海外に広がるお客さまとのつながり
- お客さまに選ばれる多様なサービス
- 産・官・学の多様なパートナーとの連携

製造資本

- 国内No.1のゼロカーボン発電能力
- 送配電線 15万km
- グループ会社^{※1} 121社

人的資本

- サプライチェーンを支える強靱な人材基盤を構築
- 多様性を高めながら、最適なタレントマネジメントを実現
- DX推進者 1,600人
- 高度DX人材 50人

自然資本

- 発電用燃料
- 発電用水

創出価値

強靱な
社会基盤の提供

S+3Eの
同時達成・高度化

中長期の目標

経済的価値^{※2}

- ROIC 3.3%以上
- ROE 8.0%以上
- Net Debt/EBITDA 5倍程度
- 自己資本比率 30%台半ば
- EBITDA 8,000億円以上
- 当期純利益 2,700億円以上

社会的価値

- GHG排出量^{※3}
- Scope1,2 ▲70%^{※4}
- Scope1,2 ▲80%^{※5}
- Scope1,2,3 ▲50%^{※4}
- CO₂削減貢献量 700万t以上^{※4}
- 従業員エンゲージメントの向上

※1 2026年6月30日現在の会社数。なお、それ以外の数字については2025年度実績

※2 2026-2028年度平均

※3 2013年度比

※4 2030年度

※5 2040年度

関西電力グループ経営理念／マテリアリティ